



# CS通信

北海道余市養護学校しりべし学園分校  
学校運営協議会

令和7年度第1号（通巻10号）

発行：令和7年8月26日

## 令和7年度の学校運営協議会がスタート！！

令和7年7月22日（火）14時30分から、令和7年度第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を開催しました。当日は、分校部会委員5名全員の皆様をお迎えして、第1回協議会を行いました。当日は、校長の学校経営方針説明、またテーマに基づいた協議を行いました。委員の皆様からは、今年度の分校の活動方針について御理解をいただくとともに、分校の将来を見据えた貴重な御意見をいただきました。

### 第1回目の学校運営協議会について

今年度第1回目の学校運営協議会は、まず始めに、宮岸校長から、令和7年度の今年度の学校経営方針及びグランドデザインを委員の方々に説明し、ご意見をいただきました。

その後、協議として、「地域との連携と継続」というテーマの基、地域資源の活用継続に向けての課題等について意見交換する協議の場を設定し、教頭、小・中・高等部各主事から、今年度上半期の各部の取組や様子、課題等を説明した後、各委員より、地域資源の有効活用と継続という視点で協議を行いました。



### 協議 「地域との連携と継続」について

#### ～ 地域資源の活用継続に向けた課題 ～

#### 富樫委員からのご意見

児童生徒が地域の人たちとつながっている様子を運動会の時に保護者が見ていて喜んでいました。学園では経験できないことを学校で経験させていただいていること感謝している。

外部講師として剣道の授業に講師として来させてもらった息子から、分校にいる児童生徒の状況について質問されたことがあった。学校としては、児童生徒の状況について知らせているのかもしれないが、特別支援学校のことを知らない相手も多いのではないかと思います。

その様な人たちもいることも踏まえて、特別支援学校のことや、状況等も含めて丁寧に説明するなど、発信していくことが必要ではないか。

#### 梁田委員からのご意見

各部の取組を聞かせていただいた。

地域資源の継続的な活用という視点で考えると、活動の目的、活動そのものが生徒一人ひとりにとってどのように学びにつながるのか反省を行いながら、またその反省を、地域の人たち相手側と共有していくことも必要ではないか。



### 金石委員からのご意見

一つの活動を行って行くためには準備等が必要であり、一つ一つの活動、取組には目的意識をもって活動を精査する必要がある。

こういうことに取り組みたい、やってみたいということがあれば、それを伝えてもらえれば、人を紹介するなど手助けができると思います。

### 藤田委員からのご意見

それぞれの取組が、どのような意図をもって行うのかということで、活動を継続するのか、変更していくのかというところが決まる。

活動を継続させていくにも、精査が必要と考える。

また、相手と繋がるためには、活動の成果を知らせていくなど、フィードバックやアフターフォローも必要。

活動を詰めすぎると、指導・支援する先生方も仕事量も増えることも懸念される。

継続という視点で考えると、活動の目的を明確にすることが大切である。

### 中村委員からのご意見

まずこれほど多く地域との活動に取り組んでいることに驚いている。

ブナセンターの職員からも、児童生徒の理解が自分が思っているところまで達成できているか、試行錯誤しながら進めているところもあると言っていた。

継続的に、自然について学習を続けていけば、自然を生業としている地域の人たちとの繋いでいくことも必要と感じている。

また、町の産業課を通すことで農家へとつなげていくことも可能ではないかと考える。



### 協議を終えて

各委員からは、ここに記載している事以外にもたくさんのご意見をいただきました。今回各委員から、各部、地域とのつながりという点で多くの取組がされていることへの驚きと、また限られた地域の中での今後の地域資源の活用と継続という視点で多くのご意見をいただきました。

分校の取組としても、新型コロナウイルスの影響から長く地域活動が制限され、昨年度からやっと地域との活動を復活できてきたということもありますが、今後、地域とのつながりの中で、活動を継続していくという視点も十分に考えながら、地域活動の目的を明確にしながら、地域交流を継続していきたいと思います。

率直なご意見等ありがとうございました。



### 校長より

昨年度始めから、やっと新型コロナウイルスに対する制限がなくなり、学校において地域等と分断していた繋がりが明け、今は人と人とが繋がりはじめられるようにやっと戻ることができた。

これからは、組織と組織が今まで以上に密接に繋がっていきながら、地域と共に歩んでいける学校にしていきたい。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。【校長 宮岸 尚平】



### 【編集後記】

御意見や御感想等がありましたら、下記アドレスよりメールにてお知らせください。お待ちしております。

今後も、地域と繋がり、学び合う学校をめざしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【E-mail】

[yoichiyougoshiribeshi-z0@hokkaido-c.ed.jp](mailto:yoichiyougoshiribeshi-z0@hokkaido-c.ed.jp)